

専用セパレータ共回り防止金具

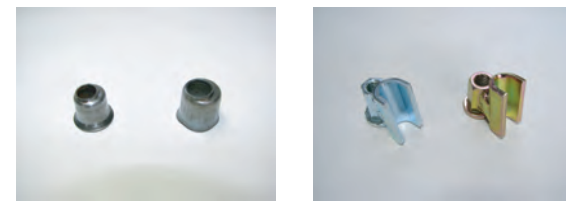
ストッパー

特許出願
意匠登録

コンクリート型枠工事におけるセパレータ保持金具

建築土木 スクリュービットシリーズ[®]

スクリュービットシリーズの調整パイプにセパレータを螺入し壁幅に調整後、セパレータが共回りしてしまうのを簡単かつ確実に防止する専用共回り防止金具です。



ストッパー

叩き込み治具ドンツク

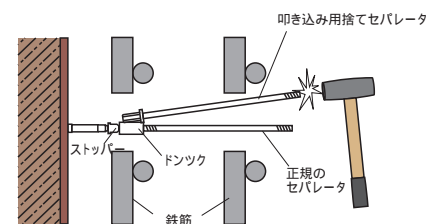
特長

穴の偏心作用によって確実に共回りを防ぐ

ストッパーを叩きこむと、頭頂部に設けられた偏心穴がセパレータのネジ部に食い込み、確実に共回りを防止します。

鉄筋の手前からでも容易に取り付け

叩き込み治具ドンツクに現場で使用しているものと同じセパレータを取り付けて使用することにより、鉄筋の手前からでも容易に叩きこむことが可能です。



使用方法



現場で使用しているセパレータから1本捨てるセパレータを用意します。捨てセパをドンツクに取り付けます。



正規のセパレータに予めストッパーを通しておきます。ドンツクのアーチ部で正規のセパレータを跨ぎ、ストッパーにあてがいます。



捨てセパの後部をハンマーで2~3回叩きます。正規のセパレータが回らなければ、取り付け完了です。

スクリュービットシリーズの調整パイプ専用品です。他製品には使用できません。

製品入数



スクリュービット

寸法(調整パイプ径・長さ)	入数(本/箱)
① W5/16 L110 (レギュラー)	250
② W5/16 L63 (ショート)	300
③ W3/8 L110 (レギュラー)	200
④ W3/8 L70 (ショート)	300
⑤ W1/2 L110	100

矢板金具

寸法(調整パイプ長さ)	入数(個/箱)
W5/16 L110 (レギュラー)	100
W5/16 L63 (ショート)	100

専用タッピングビスが302個同梱

引き抜き金具

寸法(調整パイプ長さ)	入数(個/袋)
W5/16 L110 (レギュラー)	100
W5/16 L63 (ショート)	100

専用ビットが102個同梱

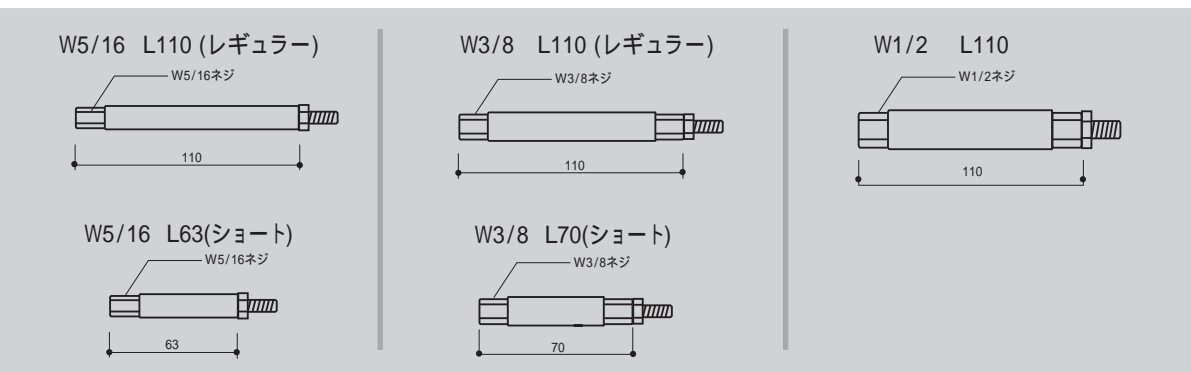
ストッパー

寸法(調整パイプ長さ)	入数(個/箱)
W5/16用	250
W3/8用	200

別途の「ドンツク」が必要となります(作業人数分)

調整パイプのみの販売も行っております。(ネジ部・矢板座金・引き抜き本体の単体販売は行っておりません)

調整パイプ寸法



壁幅が狭い場合や、レギュラーサイズでは鉄筋に干渉してしまう場合は、ショートサイズを推奨します。

パイプの中間部はセパレータの前後調整部になっており、ショートサイズはレギュラーサイズに比較して調整幅が少なくなりますので、ご注意ください。



特許取得済み

意匠取得済み

開発・製造元

株式会社 **北斗金属工業**

〒114-0013 東京都北区東田端2丁目7番6号
TEL 03-3800-1511(代)・FAX 03-3800-0684
URL <http://www.hokut.com>
E-mail mail@hokut.com

代理店

安心と信頼

地下コンクリート型枠工において、心配されるのは型枠崩壊(パンク)です。ひとたび発生してしまうと補修費がかかるのはもちろんのこと、工期の遅延にもなってしまい、多大な損害となります。スクリュービットは優れたセパレータ保持能力で型枠をしっかりと支えるので、安心してコンクリートを打設していただける製品です。



製品ラインナップ



スクリュービット

H鋼やシートパイルへの取付
強力ねじ込みで安心



引き抜き金具

H鋼やシートパイルを引き抜く際
躯体を傷つけずに引き抜ける



矢板金具

H鋼のピッチが広い場合に矢板面
へ取付けて型枠のはらみ防止

1. 資格・許可・申請不要

スクリュービットの施工には資格は不要です。また、許可や申請等も一切ありません。機械と材料があれば、どなたでもすぐに施工が行えます。

2. 100V電源使用 多少の雨であれば施工可能

スクリュービット施工は100Vの電源で施工を行います。大掛かりな機械やケーブルの取り回し・アース取り等は不要です。また、使用機械を養生すれば、小雨程度の雨であれば施工が行えます。

3. それぞれの用途に合わせたラインナップ

スクリュービットはH鋼やシートパイルの取り付け以外に、躯体完成後にH鋼やシートパイルを引き抜く場合に躯体を傷めない『引き抜き金具』や山留矢板面に取り付けて、H鋼のピッチが離れている場合にスクリュービットを補助する『矢板金具』というように、用途に合わせたラインナップをそろえています。

各製品にはセパレータのサイズに応じた調整パイプがセットになります。調整パイプの詳細については【調整パイプ寸法】の項をご覧ください。

H鋼・シートパイル用ねじ込み式

スクリュービット®

対応セパレータサイズ:W5/16・W3/8・W1/2



製品強度

- W5/16・W3/8 製品保証強度:約2100kgf
(ネジ部引張破断強度:約3200kgf)
- W1/2 製品保証強度:約2800kgf
(ネジ部引張破断強度:約4100kgf)

特長

- ねじ込み式のため強度のバラつきが無い
- H鋼の表面状態(水湿・錆)による強度の影響が無い
- 叩いて多少曲げても折損・抜け・強度低下無し
(W5/16・W3/8:10°程度 W1/2:5°程度)

施工方法



- ① 電磁石とドリルが一体となった機械をH鋼に固定して穴をあける。(約10秒)



- ② インパクトレンチを使用して①であけた穴に対して調整パイプごとねじ込む。(約3~4秒)
※ネジ部のみの取り付けも可能です

引張強度

スクリュービットはねじ込み式のため、H鋼等の厚みによって強度が変化します。

厚みによる強度表(W5/16・W3/8用)

厚み	10mm以上	9mm	6mm
強度(状況)	3200kgf (ネジ部破断)	2900kgf (ネジ部抜け)	1800kgf (ネジ部抜け)

※w5/16の場合は約3000kgfで調整パイプが先に破断します。

※上記の表は目安であり、H鋼の材質や状態により多少の強度の違いがありますので、事前に引張試験を行うなどしてください。

※防水シートを施工する場合には、防水シート専用スクリュービットをそろえております。お問い合わせください。

H鋼やシートパイルを引き抜く場合に

引き抜き金具

対応セパレータサイズ:W5/16



シートパイルやH鋼を躯体完成後に引き抜く場合には引き抜き金具を推奨します。

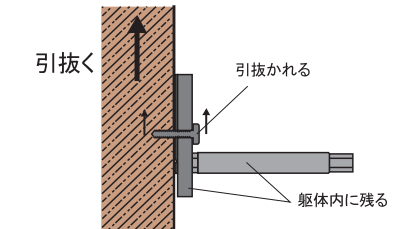
施工方法



- ①スクリュービット同様下穴をあけます。②専用ビットで本体を固定します。

製品保証強度:1000kgf
(製品破断強度:約1400kgf)

特長



シートパイルやH鋼を引き抜くと専用ビットのみが引き抜かれ本体は躯体内に残りますので、躯体を傷つけません。

引き抜き金具注意事項

- 上側(引抜き方向)には注意してください。向きが逆になると躯体を痛める恐れがあります。

- ・割り付け計算をする際は、1本当たりの強度を1000kgfとして計算してください。

横矢板用セパレータ保持金具

矢板金具

対応セパレータサイズ:W5/16

製品目安強度:500kgf
(製品本体破断強度:約1700kgf)

施工方法



矢板金具はスクリュービットの補助として型枠のはらみを抑えます。



取り付けは同梱のタッピングビスを矢板金具の座金部の3つ穴にインパクトレンチでねじ込むだけの簡単施工です。

矢板金具注意事項

- 取り付ける矢板の材質や状態(水湿・乾燥・古木等)によって強度が変わります。H鋼のピッチが離れている場合のスクリュービットの補助として御使用ください。矢板金具単体での使用は避けてください。割り付け計算の際は1箇所あたり500kgfで計算してください。

- 矢板と矢板の接合部の隙間にタッピングビスをねじ込まないでください。その場合は位置をずらして取り付けてください。

- タッピングビスは必ず同梱のものを御使用ください。